

# 来年度の杉並区教育予算について、区教委に要請

## 去る8月26日の要請における区教委の回答（要旨）その2 文責は杉並支部

要請に対する区教委の回答の続きを紹介します。この記事に対するご意見がありましたら組合にお届けください。

### （前号の「巡回の特別支援教室の諸問題について」の続き

- ・拠点校を増やすことについては、条件を整えればすぐにでもやっていきたいと当初から考えている。対象の児童が増え一定数の教員が確保でき、安定的な運営ができるのであれば、増設したい。

### 特別支援学級の介助員について

- ・配置されている教員は、学級数プラス1。介助員については学級数マイナス1。介助員を1名増やすことは今の段階ではできない。ただし、どういったお子さんにどういった支援が必要なのかを見させていただいて、安全性を確保する上でどうしても必要だったら、中身を精査しながら適切に配置したい。



### 固定学級の増設について

- ・小学校の特別支援学級の利用者が右肩上がり微増している。1校あたりで開設している学級数も、多いところでは5学級と増えてきている。そして、そもそも偏在しているため、通学時間に偏りがある。こうしたことや教室の余裕などを総合的に考えて増設を検討してきた。〇〇〇小の準備については、当該校と連絡を取りながら始めている。
- ・なお、区の北西にはまだまだ不十分だというのは認識しているが、一定程度教室がないと中々実現には踏み切れない。

### 難聴言語指導通級学級について

- ・従来から言われており、作りたいと思っている。ただ、空き教室がない。空き教室が出始めたら検討に入れるが、数年先になる。それまで待っている場合でもないので、何か代替できる案がないか検討に入っている。

### 済美養護学校について

- ・国の設置基準は十分満たした検討をしているのでご安心を。
- ・スクールバス対応もしっかりやっている。
- ・医療的なケアについては、校外に出る学習や行事も増えているので只今検討に入ったので、しっかり対応できるように、何らかの考え方、方針をいずれ示していきたい。

### さざんか教室について

- ・学校に行かないという選択をする子どもが増加しているので、学校と連携しながら、さざんか教室で学びの保障を行ったり社会的な自立に向けた支援という取り組みの重要性を認識している。ただ、増えてきている子どもたちの中には、学校に行きたくないという子どももいれば、行きたいけれど行けない、さざんか教室には行きたくないなど様々な子どもたちの願い、思いがある。そういった子どもたちに即しながら支援していくことが大事なので、増室の計画については子どもたちの現状を含めながら議論を重ねていきたい。
- ・今年度から、さざんかに登録していてもなかなか通室までつながらず、そうした子どもたちへの支援として、昨年度まで宮前教室のみで行っていた「杉ポート」という相談グループ

の活動があるが、これは複数の心理士で、場を安定させて子どもたちの思いを引き出して一緒に活動していくというチームの取り組みだが、これを小学校対象の荻窪教室、中学校対象の和田教室でも行うことで、不登校の状態ですざんか教室に通室が難しくなったり、本人の意思が中々確認できないようなお子さんたちへのサポート態勢を拡充をした。より個々の子どもたちの状態の違いに対応していきたい。

- ・職員の異動については、今年度中に一人一人の意向を確認して次年度の体制に反映させ、混乱が生じないようにしていきたい。

### 校舎の改築、改修について

- ・今杉並では小学校では、児童数が増えて教室が足りない。従来なら普通教室でないところを教室にしてきた。まずは将来的に児童数を把握するよう取り組み、その上で予想が外れることはあるので、新しい学校については余裕教室の活用ができるような学校のこしらえ方をしていって、どうしても余裕教室がいっぱいになった場合には、天沼小、高井戸小などのように、申し訳ないが地域の理解を得ながら校庭の一部を増築している。それでも間に合わない時は学区を見直すなどの対応になる。
- ・一昨年度、冊子になっている「杉並区立学校整備計画」では、校舎の老朽化の度合いを見て、どうしても改修のレベルではなく改修しなければならぬものは、神明中の場合のように一から建て直すという計画を立てている。久我山小のようにコンクリート強度がもつものは、改築ではなく改修、すなわち長寿命化改修という形で必要なメンテナンスをして長く使うというようにカジを切り直している。もし緊急でも改修を行うなどの場合には関係者の皆様のご意見を聞きながら丁寧にやっていきたい。
- ・長寿命化改修は、できれば夏休みとかに合わせてやっているが、久我山小は3年というように1年間でできるものではない。改築と違い仮校舎は建てるわけにはいかないため、学校のご意見を聞きながら丁寧にやっていきたい。

### 学校プールについて

- ・「整備計画」では、これからもプールを作っていくかどうかは一回立ち止まって考えてみる、という考え方になっている。作らないというのではない。その背景には、暑すぎて泳げないとか、1年間のうち何日使うのか、メンテナンスの大変さ、教職員の皆さんの負担などの問題がある。一方で自校のプールがなくても水泳時間は確保しないといけない。今、神明中においてはプールを作る案と作らない案を両方出して、皆さんから意見をいただいている。なお、今あるプールは、しっかりメンテナンスをして使わないといけないので計画的に整備事業の中で対応していきたい。



### 給食関係について

- ・給食室のエアコンについては計画的に設置を進めていて、校舎改築、給食室改修以外は令和5年度には完了する。手洗い器の方も進めており、トイレも学校給食衛生管理基準に則った衛生的なものにしていきたい。
- ・米飯給食に関連して、可能な範囲内で熱風消毒の保管庫の増設を行っている。また、学校改築等に合わせた必要な給食室の面積確保にも取り組んでいる。

（以下は次号に続く）